2016年伊勢志摩国立公園指定70周年記念紙

ぱるく伊勢志摩

秋の号 3　第３号

企画・編集・発行：(有)伊勢文化舎
協力：伊勢志摩国立公園協会
公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構
発行部数：8万部
〒516-0008 三重県伊勢市船江2丁目22-25
TEL：0596-23-5166　FAX：0596-23-5241
Mail：otayori@isebito.com
URL：http://www.isebito.com/

神宮林の境界を歩く

四季を通し、緑深い伊勢神宮の森「神宮林」。
伊勢志摩国立公園の〝緑〟を代表する照葉樹の森です。
境界石に沿って尾根道をたどると、峠に交わる古道に、
苔むした野仏や道標、可憐なアサマリンドウも――。
野に遊ぶ八百万（やおよろず）の神々を感じながら、
秋ならではの林間ウォークを！

【特集】
2→7……神宮林の境界を歩く

【シリーズ】
8……伊勢志摩の鳥人 空からパチリ！「五ヶ所湾から鵜倉半島へ（南伊勢町）」
9……インタビュー 伊勢志摩と私「山本教和さん（伊勢志摩国立公園指定70周年事業実行委員会会長）」
10……お伊勢さんを訪ねる 新別宮へお参りに「瀧原宮へ（大紀町）」
12……先駆者たち「ウォルター・D・ポパム大尉と石神甲子郎技官」
13……乾 淳子の手作り味に出会う里「ソマカツオの塩切り（南伊勢町）」
14……ぐるり伊勢志摩 見よう・歩こう・楽しもう（国立公園エリアマップ）
16……ぱるく博士「かおり風景100選がある公園」／お知らせ「みなとオアシス Sea級グルメ全国大会 in とば」
70周年記念事務局だより／伊勢志摩からの便り

デザイン・レイアウト＝中川朋樹

特集

神宮林の境界を歩く

神宮林は“日本の森”の原風景。シイ・カシ・ツバキなど、常緑広葉のつややかな照葉樹が息づく。

実を採取する天然ヒノキの母樹。（神宮司庁提供）

神宮の森に多くの特別保護地区

伊勢市南部、標高200～500㍍の丘陵地に広がる神宮の森（以下、神宮林）の広さは、5,500㌶。ざっと伊勢市の面積の4分の1に当たり、伊勢志摩国立公園の陸域のほぼ1割という広大なものです。

この神宮林には伊勢志摩でもっとも広い面積の特別保護地区が設定されています。国立公園は自然保護の観点から地域を3つに分類しており、最も厳格に自然保護を必要とされるのが特別保護地区、次いで特別地域、普通地域となっています。自然公園法によると、特別保護地区では人為的に原状を変えることが厳しく禁止されており、たとえば、植物なら採取したり、逆に植えたり種子を蒔くのをはじめ、枯葉や枯れ枝を拾うことの禁止など、かなり具体的に順守事項が記されています。

もし、特別保護地区で違反があったときは…。神宮林の管理・施業を受け持つ神宮司庁営林部の村瀬昌之課長に聞くと、「そのペナルティは原状回復というたいへん難しい作業になりますが、国立公園となって70年間、幸い一度も神宮林の特別保護地区に不具合はありません」と明快な答えが返ってきました。

広い神宮林の管理は、営林部作成の地図に従って谷筋や尾根を考慮した106林班区ごとに進められています。

春は、植樹の季節。薫風流れる山中で植樹祭が行われ、手塩にかけて3年育てた実生（みしょう）の若い苗が植え始められます。

夏は下草刈りなど、秋から冬にかけては、枝打ち、間伐、搬出、林道の整備など、山作業は間断なく行われます。

新しい現場で伐木を始める時には、必ず作業者一同が寄り集まり、その山の神に御酒を供え、山入りの奉告をするのが山の慣わしです。万一にも怪我人など出ないよう、加護を願う杣人（そまびと）の祈りが捧げられるのです。

環境を守る美しい御杣山（みそまやま）をめざして

「この国の歴史が始まったころの森がそのままの姿で残されている」と内外の学者に賞賛される神宮林。内宮の宇治橋に立つと、右手に神路山（かみじ）、左手には島路山（しまじ）が照葉樹林らしいおだやかな山並みを描き、そこを水源として清らかな五十鈴川が流れ出しています。

天照大神（あまてらすおおみかみ）がここに鎮座されたのはおよそ2000年前（第11代垂仁天皇の代）のこと。その後、持統（じとう）天皇の代（約1300年前）には式年遷宮の制度が定められ、神宮林は遷宮造営のご用材を主に伐り出す山となりました。

20年に1度行われる式年遷宮は、内宮と外宮の正殿をはじめ14別宮の社殿などを総ヒノキで新たに造営し、祭神にお遷り願う大掛りな神事で、そのご用材は樹齢200年以上のヒノキで約10,000本。特別に大材を用いる正殿の御扉（みとびら）、御床、棟持柱などには樹齢300年以上の巨木が必要とされます。

遷宮制度が始まったころはみごとな天

明治13年（1880）、明治天皇の御聖断を仰ぎ、
伊勢神宮の遥拝所として建てられたのが
「東京皇大神宮遥拝殿」、いまの東京大神宮です。
皇室の御祖神である天照大御神をまつり、
国民の総氏神と仰がれる
伊勢神宮（内宮）の御神徳を
皇都東京にあまねく宣布し、
都民の心のよりどころになるようにとの
願いから創建され130年余の歳月が流れました。
「東京のお伊勢さま」として親しまれている東京大神宮は、
いまも伊勢神宮と都民の心を結んでおります。

東京のお伊勢さま

東京大神宮

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-4-1
電話（03）3262-3566 FAX（03）3261-4147
http://www.tokyodaijingu.or.jp/
JR総武線、地下鉄東西線・有楽町線・南北線・大江戸線
「飯田橋駅」徒歩5分

文=乾　淳子
撮影=阪本博文

神宮林は国立公園陸域のほぼ1割を占める。

先の式年遷宮では、若手の営林部職員たちが斧による伝統の大樹伐採法（三ツ尾切り）に挑戦した。

神宮林の奥深く、さわやかな瀑音が響く。

用材候補のヒノキは、成長を促すために周囲の雑木を払って日当りを良くし、定期的に計測するなど、大切に育てられる。

然ヒノキが生い繁っていたと思われる伊勢の山も、鎌倉時代頃には良材が伐りつくされ、それ以降、御杣山は各地を転々。江戸時代の中頃からは信州の木曽に移りました。

大正12年、再び伊勢の神宮林でご用材すべてを準備できるようにと専門家による神宮神地保護調査委員会がもたれ、200年先に視点を置く基本方針が設定されました。「神宮林は大神の御座所にふさわしい森厳さ、美しさを保つとともに、五十鈴川などの水源、環境保護をはかりながら、永続的に造営用材の自給をめざす」こととなったのです。

方針設定から90年余り、2年前の第62回式年遷宮（平成25年）では700年ぶりに神宮林からご用材が伐り出されました。これは用材のうちではSサイズといえるもので、正殿の御垣の柱などとして製材されましたが、それでも全体の約23パーセントをまかなう成果をあげたのです。

神宮林を源とする五十鈴川（内宮神域）。

伊勢参り、朝熊かけねば片参り

神宮林の島路山と峰続きに、伊勢志摩国立公園の最高峰、朝熊岳（555メートル）があります。山頂に近く、古くから山岳信仰の霊場としても知られる金剛證寺の堂宇が緑の中に見え隠れしています。

寺伝によると、欽明天皇（在位539～571）の代に修験道者・暁台上人が堂宇を建立。平安時代には空海によって求聞持法が成就されて「金剛證寺」と号されるようになり、さらに変遷を経て、臨済宗南禅寺派の別格本山となった名刹です。

お伊勢参りが全国的に広がり始めたのは室町時代ですが、江戸時代になると、伊勢音頭にも「朝熊かけねば片参り」と唄われ、参宮のあとの朝熊詣でが一般的となるほどの名所となりました。

一方、地元の伊勢志摩では、亡くなると岳に還る、岳に昇る、との山岳信仰が根強く、葬儀後には宗派を問わず金剛證寺の奥の院に一族そろって参り、卒塔婆を建てる風習が今なお続いています。

かつては朝熊山麓の伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢から山頂をめざす参詣道が十数本のぼっていましたが、昭和39年、景色のよい有料の自動車道・伊勢志摩スカイラインが山頂経由で鳥羽まで開通。岳参りは車の時代に変わりました。

いつしか昔の参詣道は野に還り、わずかに朝熊道、宇治岳道、五知道、丸山道などが古道としてハイカーたちに親しまれています。

神宮林は特別保護地区も多く、御杣山でもあり入山は制限されています。しかし、近々と山の気配を楽しむ手立てはあります。

伊勢市の地図を見ると、神宮林の中ほどを2本の県道が通り抜けています。内宮前から五ヶ所（南伊勢町）へ抜ける県道12号伊勢南勢線〈五ヶ所街道〉、それに伊勢から磯部への県道32号伊勢磯部線（伊勢道路）です。

五ヶ所街道に入るとすぐ温帯の代表的な林相のうっそうとした針葉樹と広葉樹の混交林が続き、剣峠近くではヤブツバキの純林（3・4月）がみごとです。伊勢道路ではネムの花（6・7月）や紅葉（11月）など。どちらもカーブの多い山道ですが、ドライブしながらも神宮林の四季の風情が十分に感じられます。

また、境界の尾根道（約35キロメートル）をハイキングすることもできます。一部区間、神宮へ許可申請が必要ですが、タバコなど火気厳禁、動植物保護のマナーを守って、歩いてみてはいかがでしょうか。

朝熊岳の山頂近くに位置する金剛證寺。

伊勢名物 赤福

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0596-22-2154(代)　フリーダイヤル 0120-081381
http://www.akafuku.co.jp/

キャラクター 福丸くん
facebook 頭之体操

頭の神様 おかしらさん
日本で唯一「頭之宮」と名付く神社

頭之守護神 知恵の大神 頭之宮四方神社
鎮座地 三重県度会郡大紀町大内山
0598-72-2316
http://www.koubenomiya.or.jp/

●「松阪」よりJR線又は三重交通（南紀特急）「大内山駅」下車徒歩10分
●紀勢自動車道 紀勢大内山I.C.より尾鷲方面へ車で5分
●「松阪」「伊勢」からレンタカーが便利です。いずれも、およそ50分。
●伊勢志摩国立公園の南の玄関口・南伊勢町まで15分（国道260号全線開通）

特集

デイパックで出掛けよう！神宮林境界あるき

1.境界線の右手は自然林の防火樹帯、左手には手入れのよいヒノキ林がつづく。　2.スタート地点は名水百選で知られる天の岩戸。　3.尾根道にヤブニッケイの純林。異国の庭園に迷い込んだような雰囲気だ。　4.境界ウォークは木もれ日の中、落ち葉道をゆく。　5.「葉を手でもむと、ニッケイのような香りが」と村瀬さんの体験学習タイム。　6.岳参りの古道沿いにお地蔵さん。　7.神宮林の境界石は意外に“目立たない存在”。　8.五知分岐に立つ石地蔵。34町と麓の五知からの距離が刻まれている。　9.山伏峠近く、展望台という名の岩からは、鳥羽の海が近々と見える。

広大な神宮林の外周につづく尾根道は、つもりにつもった落ち葉道。四季を通して常緑の森は、今も太古の記憶が息づいているような――。伊勢志摩国立公園の３市＆１町（伊勢市・志摩市・鳥羽市・南伊勢町）の神宮林との境を踏みしめる林間ハイキング、ごいっしょに！

出会うのは、寿命いっぱいに生きてきた老大樹、リス、シカ、イノシシ、季節の野鳥の声も。心鎮まるハイキングです。

山好会
竹野 和夫さん

神宮営林部
村瀬 昌之さん

〈今回のコース〉

天の岩戸 ▶ 逢坂峠 ▶ 五知分岐 ▶ 山伏峠 ▶ 朝熊岳（金剛證寺）▶宇治岳道 ▶ 内宮

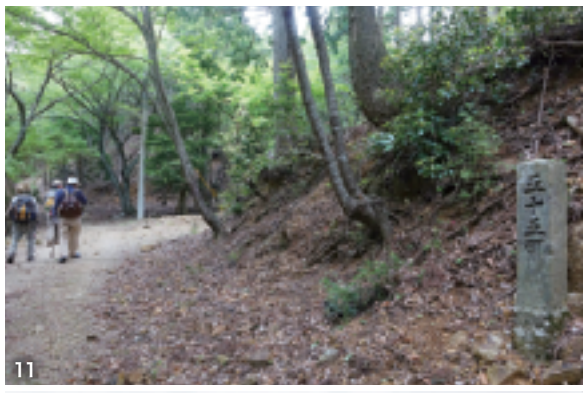
神宮林境界の周回コース

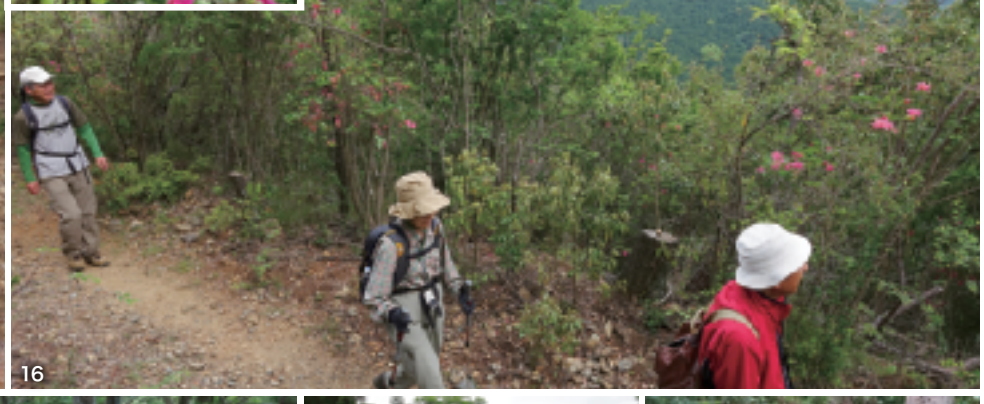
（今回のコースを加えて１周となる。国土地理院地図1／25,000 伊勢・五ヶ所浦・鳥羽・磯部）

1. 登山口・修養団駐車場の裏手（伊勢市宇治今在家）▶五本松神社▶鼓ケ岳▶西峰▶神宮作業道▶前山▶鷲嶺▶水穴分岐▶竜ケ峠▶登山口
2. 登山口・仙人下橋▶竜ケ峠▶401ピーク▶八祢宜山▶剣峠▶京路山▶島路山▶逢坂峠▶天岩戸▶（車）仙人下橋

注意事項

- 神宮林内へは許可なく立ち入れません。鳥獣保護区であり、植物の採集も禁じられています。
- タバコを含め火気厳禁です。
- 携帯の使えない場所が多いので、地図（国土地理院発行25,000分の１）と磁石を持参のこと。熟練のリーダーと行動することをおすすめします。





10.鳥羽の丸山庫蔵寺を通る参詣道・丸山道は東海自然歩道にもなっている。　**11.**かつてバスも通っていた平坦な宇治岳道を下る。　**12.**眼下に、宮川、五十鈴川の河口一帯が広がる。　**13.**ボランティアの方が整備した道をありがたく歩く。　**14.**山頂に近く、旅館や別荘の跡、ロープウエイの旧駅も。　**15.**初夏に山を彩るジングウツツジは蛇紋岩地帯に特有な植物。　**16.**日当たりのよい宇治岳道にはアサマツゲや雁皮などが。　**17.**宇治岳道には町石のお地蔵さんが続く。　**18.**宇治岳道は清水橋で伊勢志摩スカイラインと立体交差する。　**19.**本日のゴール地点「宇治岳道」の大石碑をバックに。

天の岩戸から逢坂峠へ

地図上で見る神宮林の輪郭は、内宮を中心に1枚のツタの葉のような曲線を描いています。その外周は約35キロメートル。ほぼ毎年“境界歩き”をしている伊勢在住の山好会会員・竹野和夫さん(66)をリーダーに、その約3分の1(17キロメートル)にチャレンジしました。神宮の村瀬昌之さん(60)も境界踏査を兼ねて同行。“鬼に金棒”気分のスタートです。

出発地点は、名水百選で知られる磯部町(志摩市)の天の岩戸です。

石の大鳥居をくぐり、清流の脇を進み、岩屋を通り過ぎて、右手へつづく山道へ。

やがて、杉の巨木が次々と。神宮の参道で見る神杉に劣らぬ立派さです。この辺りは猿田彦の森と呼ばれる一帯で、すでに神宮林の一部とのこと。急な登りがつづき、約30分で逢坂峠(243メートル)に到着です。この峠は伊勢と志摩をむすぶ唯一最短の峠として、古くから人と共にさまざまな物資が行き交い、磯部側には茶屋が何軒もあったといいます。

「ここは、伊勢道路(県道)の志摩路トンネルの真上あたりですよ」と竹野さん。山中の峠にしては開けているのは、峠に切通し道をつける普請や作業道の工事が明治以降何度か行われたからでしょう。

尾根道は万一に備える防火樹帯

逢坂峠からは東の急な斜面にとりつき、落ち葉に足をとられながらも、尾根道へ出るまではがんばって登りきります。

尾根に出ると、カシ、シイなど常緑広葉樹がいい感じで樹冠をひろげており、軽くアップダウンする尾根道が木漏れ日の中につづいています。

村瀬さんによると、神宮林境界の稜線には30メートル幅で防火樹帯が設けてあるとのこと。これは主要な尾根も同様で、総延長は70キロメートルにも及ぶとか。山の管理でもっとも怖いのは山火事なのです。

ところで、遷宮ご用材を育てているヒノキ林はどこに――。

村瀬さんの指さす尾根道の下方に目を移すと、若いヒノキ林のつづいているのに気付きました。尾根道と比べて森が明るい感じです。「太陽光が林床まで届くようにしてあるのですよ」と村瀬さん。「森は植林したり、伐ったりするとストレスを感じる。それを何とか解消してやるよう広葉樹の混じる自然な混交林にし、陽光を入れて下草も育つように山の手入れをしているのです」。なんと幸せな森なのでしょう！

山中に、純林の“庭園”

尾根道をさらに進むと、不思議な雰囲気の木立に、思わず立ち止まってしまいました。チャコールグレイで滑らかな木肌、葉はつややかで楠に似ているような。それが50本、いや100本？

「200本以上はありそうだなぁ。ヤブニッケイの純林ですね。実生ですよ」と村瀬さんも驚きのようす。葉を手のひらに載せてまじまじと見ると、葉脈は3本、揉むとニッケイのような芳香が。こんな山奥に、ヒミツの庭園がしつらえられていようとは。自然は時に思いがけない歓待をしてくれるものです。

当初、このルートは神宮林の境界石に沿って行けば迷うことはない、と思い込んでいたのは大外れでした。境界石はそれほど目立つものでなく、定間隔に立っているものでもないのです。一つひとつチェックしている村瀬さんが「うーん、これは古いなぁ」と感心した明治ぐらいのものから、大正生まれもあったり。神宮職員が適宜境界の巡視をしているそうですが、村瀬さんもこんな神宮林のはずれまで踏査に来ることは、めったにないそうです。

われわれの頼りになるのは、竹野さんの経験とコンパス(磁石)です。「このルートは道案内の看板もありませんから、時々自分のいる場所を確認する必要があります」と竹野さん。所属する山好会では、地図の読み方とコンパスの使い方は新人講習会の定番なのだそうです。

五知分岐に町石地蔵と道しるべ

志摩の五知から朝熊岳への参詣道「五知道」と出会う地点まできました。お参りの人たちは、分岐に並ぶ石柱「従是神宮宮域」と「三十四町」石地蔵に迎えられ、やれやれと汗をぬぐったことでしょう。ここからは3町ごとの町石地蔵に導かれ、“岳参り”気分が高まります。

37町石を過ぎると、右手にバクチ岩の名のある4〜5メートルの平たい石。岳参りの人びと相手にバクチを打った場所だったとか。往時はそれほどの賑わいがあったのでしょう。

山伏峠から金剛證寺をめざして

41町石に「山伏峠まであと600メートル」の標示。登りつづきでへたり気味の一同、ここでギアを入れ直します。

山伏峠(525メートル)は標識もあり、小高い茂みに囲まれています。朝熊岳の金剛證寺は創建からしばらく密教の時代もあり、山伏たちがしきりに往来した時代があったのでしょう。

右手に〈展望台〉の標識。竹野さんの「写真を撮るには良いポイントですよ」の一言で寄り道、決定。30メートルほどいくと、尾根から突き出た岩場が。よじ登ってみると180度に広がる絶景！緑の正面に小島を浮かべた鳥羽湾が光っています。

もとの道にもどった辺りで、「昔の文献にある寺見坂とはこの辺りでは…」と村瀬さん。時代劇の舞台になりそうな地名ですが、茂る木々に遮られて金剛證寺はまだ屋根も見えません。

やがて、道が平坦になったと思うと、鳥羽から登って来る岳参りの古道「丸山道」が右手から合流。さらに伊勢志摩スカイラインの舗装道を横切ると、そこは金剛證寺の境内です。

緑陰でひと休み。弁当を開きました。

宇治岳道で、内宮へ下山

朝熊山頂(555メートル)の一帯は、古刹・金剛證寺ゆかりの堂宇や奥の院と卒塔婆列をはじめとして、遺跡・史跡、勢州随一の景勝など、見どころもさまざま。ハイキングのついでには味わいつくせないものがあります(詳しい情報とマップは、p6〜7に)。

宇治岳道から見る神宮林の山並み。

本日の最終ルートは、昔からもっともよく歩かれた岳参りの宇治岳道。朝熊岳道と分かれる朝熊峠からゴールの内宮まで約6.5キロメートルと意外に距離があります。

登山道としては首を傾げたくなる道幅の広さ、なだらかさ。ここを昭和39年まで伊勢からのバスが通っていたと知って、納得するやら驚くやら、です。

山頂付近の平坦な道沿いに、観光旅館の跡地、御木本幸吉の別荘跡、かつてのケーブル終着駅など、昔日の夢の跡が…。

この辺りで下界を眺めると、宮川と五十鈴川の河口に広がる伊勢市街、さらには伊勢湾、対岸の知多半島も…。空を舞うトンビの心地で見とれてしまいます。

「これは、アサマツゲ。蛇紋岩地帯に特有な植生ですよ」と村瀬さん。やっぱり樹木が気になるようす。伊勢根付の素材となるこのツゲ、いかにも成長に時間がかかりそうです。初夏に山腹を彩るジングウツツジも蛇紋岩地帯の植物。花の季節に、ぜひまた訪れたいものです。

途中、所々荒れ具合が気になった登山道ですが、宇治岳道には明らかに道普請をした形跡があります。「ボランテイアで独りコツコツ道を直している方がいるのですよ」と竹野さん。一体、どんな方が、どのような思いで、と骨折りに感謝しながら下りました。

今回の“神宮林境界歩き”のゴールは、内宮の裏手の山際に立つ「宇治岳道」の大きな石碑です。いつの日か、神宮林境界の残り3分の2も歩いてみたい、そう心から思う、緑に癒された一日でした。

特集【ガイド】

歩きで!バスで!マイカーで!
朝熊山頂を楽しもう!

悠然と伊勢・鳥羽・志摩の町を見下ろす霊山・朝熊山。ひと足早く秋の気配が漂う山上では、ススキが涼しい風に揺れ、足元ではアサマリンドウがムラサキ色の小さな花を咲かせています。
ここには「お伊勢参らば朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参り」と俗謡に唄われ、古くから旅人や近隣の信仰を集めてきた「金剛證寺」、伊勢と鳥羽を結ぶ天空のドライブウェイ「伊勢志摩スカイライン」など伊勢志摩の信仰、自然、絶景にふれる見どころがたくさんあります。
秋の1日を朝熊山上でごゆっくりとお楽しみください。

取材=中川絵美子

○公共交通機関でのアクセス
近鉄五十鈴川駅より参宮バス・スカイラインルート
「金剛證寺」行で約30分(土日祝日のみ運行)
問三重交通伊勢営業所　TEL0596-25-7131

金剛證寺エリア

❶朝熊岳金剛證寺

臨済宗南禅寺派の寺。約1500年前に暁台上人が草創しました。平安時代には弘法大師が真言宗の道場を開き、密教修行の大道場として隆盛を極めました。その後応永年間(1394〜1427)に仏地禅師が再興し、禅寺となりました。古くから伊勢神宮の鬼門を守る寺として「神宮の奥の院」とも言われ、地元の人に親しまれています。

本堂・摩尼殿(重文)は檜皮葺の屋根に、内側は絢爛たる金箔仕上げ。安置される本尊・福威智満虚空蔵大菩薩は福徳や知恵をさずけてくださる菩薩。神仏習合の影響から、祭壇には神道と同じくサカキが供えられています。本堂左手にあるのは、求聞持堂。空海が秘法を会得し、明晰な頭脳となった堂。開山堂では開山忌(6／27〜29)の29日には法要が行われます。

本堂内陣。20年に1度、伊勢神宮のご遷宮の翌年(次回平成46年)にご開帳される。

金剛證寺

時9時〜16時
所伊勢市朝熊町548
TEL0596-22-1710

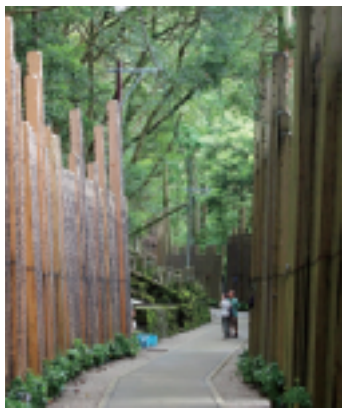
❷宝物館

金剛證寺が所蔵する国宝や重要文化財を展示しています。

弘法大師が密法の修行中、天照大御神の姿を感得して作ったと伝えられる木彫の雨宝童子像、経ヶ峰から出土した平安期の陶製の経筒などが拝観できます。拝観は団体のみ。要予約。

❸卒塔婆群

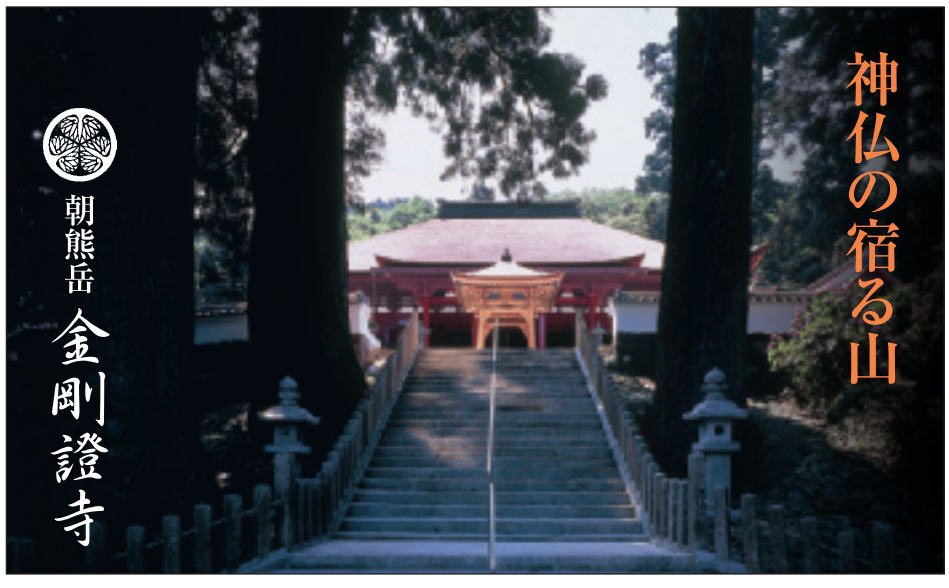
極楽門から奥の院へと続く道の両側には大小1万本の柱のように立派な卒塔婆が並んでいます。最も大きいもので8メートルあり、ずらりと並ぶようすは圧巻です。伊勢志摩地方では、亡くなった人の魂はこの山に昇ると考えられており、その供養に卒塔婆を建てるのが慣わしとなっています。


卒塔婆群

❹奥の院

長い卒塔婆群の終着点にあります。延命子安地蔵が本尊。着せ替え地蔵、厚着地蔵と呼ばれる約100体の地蔵もまつられており、参拝者たちは亡き人の面影をもとめて眼鏡や洋服を着せていきます。また古くより富士見台としても名高い場所です。

開山忌には多くの人が訪れる。



朝熊山頂エリア

❺八大龍王社

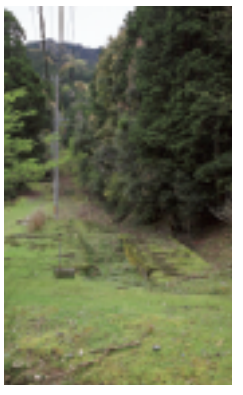
弘法大師が八大龍王をまつった社。かつて龍が天に昇ったという伝説があります。現在の社は伊勢湾台風(昭和34年)後に再建されたもの。7月13日の大祭には、海上安全や大漁を祈願するため多くの人が参詣します。

❻朝熊山経塚群

平安時代、弥勒菩薩が現れ世を救うと考えられた「56億7000万年後」のために陶製の経筒を埋めた場所。伊勢湾台風の後の倒木整理で本格的に発掘調査が行われました。見つかった経筒は宝物館で展示されています。

朝熊岳周辺エリア

■ケーブルカー 平岩駅跡(伊勢市朝熊町)



伊勢市から金剛證寺まで参拝者を運ぶ目的で大正9年から昭和19年まで運行されていた朝熊登山鉄道。平岩駅は鋼索線の出発駅で、現在では苔むしたプラットフォーム跡や山頂へ向かう軌道だけが残る産業遺産です。当時は東洋一といわれる急傾斜で多くの観光客を運びましたが、太平洋戦争により不要路線の廃止が叫ばれるようになり、登山鉄道の営業は廃止。レールをはじめとする鋼材は大阪市電や阪神電鉄などに供出されました。

■丸興山庫蔵寺(鳥羽市)

弘法大師ゆかりの寺。天長2年(825)空海が金剛證寺を建立する際に、虚空蔵菩薩をこの地に安置し、同山の奥の院にしたとされます。天正年間には九鬼嘉隆が鳥羽城築城の地鎮と安全の祈願を命じた古刹です。

朝熊山頂広苑エリア

❼山頂広場

金剛證寺から徒歩10分。見晴らし抜群の展望台からは、伊勢の市街や鳥羽湾に浮かぶ島々が手に取るように見え、天気の良い日は富士山や南アルプスの峰々まで望めます。毎年5月には山頂広苑一帯に約2000本のツツジが咲き誇り「朝熊山春まつり」を開催しています。

■伊勢志摩スカイライン

昭和39年に開通した朝熊山の山稜をゆく絶景のドライブウェイ。金剛證寺や展望台を経由して伊勢と鳥羽を16.3キロで結んでいます。途中には景色を見るためのパーキングエリアも何カ所か設けられています。

時 9～12月　7時～19時 ※季節によって変わります。
料 自動二輪車126cc以上 880円／軽・小型・普通自動車 1250円
問 三重県観光開発伊勢営業部　TEL 059-226-6752

周辺のみどころ

❽展望足湯

標高500㍍、大パノラマの景観を見下ろすポイントにある足湯。鳥羽湾に浮かぶ島々や伊勢湾の対岸の渥美半島、知多半島を眺めながら、大自然の中で開放感たっぷりの足湯が楽しめます。効能は「こころのやすらぎ」。

時 10時～16時
料 大人100円、小人50円

❾朝熊茶屋

「山頂売店」では伊勢志摩土産や伊勢玩具などを販売しています。隣には軽食が食べられる「朝熊茶屋」があり、朝熊うどんやパンdeソフトなど軽食・スイーツのメニューが人気です。

時 9時～17時
問 朝熊山頂売店
TEL 0596-22-1248

❿天空のポスト

360度の景観が広がる山頂広場にある昔懐かしい赤ポスト。伊勢志摩地方でもっとも高い場所にあるポストですが、訪れた記念に投函する人も多く、毎日集荷があります。朝熊山頂売店では、絵はがきと切手を販売しており、旅の記念にいかが。

⓫さんぽ道

四季折々の植物や昆虫が観察できる自然歩道。コース沿いには、伊勢市街を一望できる絶景ポイント・勘吉台があり、途中にはのんびり過ごせるベンチやハンモックが設置されています。春になると、満開のツツジが一帯を彩ります。お弁当を食べるのにも最適。

⓬御木本幸吉駕籠立場の碑

朝熊山からの景色をこよなく愛したという御木本幸吉。この碑は、大正初期に幸吉が駕籠で朝熊山に登り、ここから見た景色に感動して、自ら建てたといわれるものです。当時は朝熊山ケーブルカーが走っており、自身の駕籠と競い合ったというエピソードも残っています。

朝熊山上で季節の自然観察

朝熊山にはさまざまな種類の植物が群生し、四季折々に来山者を楽しませます。
また貴重や蝶やトンボ、珍しい鳥なども多く見られ、散策をしながら季節を感じることができます。

アサマリンドウ(10月頃)

名前の由来は朝熊山で発見されたことから。朝熊山七草の一つ。紀伊半島と四国の一部にしか確認されていません。リンドウよりも小ぶりで清楚な青紫の花が山道を彩ります。

アサマギク(5月頃)

シュンジュギク(別名:真珠菊)で朝熊山に自生する種はアサマギクと呼ばれ、4月～5月に白い小さな花をつけます。

アサギマダラ(9月頃)

羽を広げると10㌢ほどになる蝶。秋に日本各地から海を渡り沖縄や台湾へ渡る日本で唯一の渡り蝶として知られます。秋に朝熊山を通過します。

サシバ(タカ)の渡り(10月頃)

夏に本州中部以北で繁殖した後、秋に伊良湖岬に集まり、東南アジアなど南の越冬地へと渡る。中継地として上空を旋回する群れが見られます。

山の会紹介

登山は先達や仲間がいると、より楽しくなるもの。
地元の山グループのご紹介。

山好会／新日本スポーツ連盟に加入する三重県のハイキングクラブ。初心者から上級者まで県下に7クラブ約150名の会員がいます。県内の山から日本100名山、海外の山まで「安全登山」をモットーに活動中。
http://sankoukai.dante.jp/

テクローかい／毎月1回(日曜)、10余本のコースから朝熊山を登るのを例会としている登山グループ。7･8月には夜間登山に挑む。日曜日に山行できない人たちのために“ウィークデーテクローかい”などもある。会員は約100名。
問 テクローかい事務局　TEL 0596-22-1726(前島さん方)

秋、伊勢はおおまつりウィーク！

伊勢神宮 神嘗奉祝祭 祭のまつり

一年に一度全国の有名なお祭りが伊勢に集い、神嘗祭を祝い盛大に饗演します。

前夜祭――10月14日(水)16:30~21:00 県営サンアリーナ
祭のまつり――10月15日(木)11:00~15:30 外宮及びその周辺
初穂曳・外宮領―10月15日(木)10:00~12:30 高柳商店街～外宮
初穂曳・内宮領―10月16日(金)10:00~14:30 五十鈴川～内宮

伊勢まつり

市民主体で企画・運営する秋の恒例行事で、パレード、イベント、出店などに150を超える団体が参加する地域最大級のまつりです。

10月10日(土)　10:00~21:00
11日(日)　10:00~17:45
高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線(尼辻交差点)～伊勢市駅周辺

お問合わせ　伊勢市役所 観光誘客課
伊勢市岩渕1-7-29　TEL 0596-21-5565　FAX 0596-21-5522
http://www.city.ise.mie.jp/

モーターパラグライダーで空中散歩を楽しみながら撮影を続け、
今年5月に亡くなられた松本高正さんから提供していただいた
写真でつづる「空からパチリ!」。
今回は南伊勢町のフライトです。

伊勢志摩の鳥人 空からパチリ!

PROFILE

まつもと・たかまさ
1936(昭和11)年生まれ。64歳でパラグライダーに挑戦。その後、エンジンユニットを接続して、その推進力で飛ぶモーターパラグライダーに転向した。年に70回以上も空を飛び、「鳥人」の名をほしいままにした。ここ数年は伊勢志摩国立公園のカレンダーに空撮写真が使われている。ことし5月、志摩市沖を飛行中に不慮の事故で死去した。享年80。動画投稿サイト「YouTube」には空からの動画がアップされ、今もアクセスが相次いでいる。

五ヶ所湾から鵜倉半島へ(南伊勢町)

養殖筏が浮かぶ五ヶ所湾。山々の連なりがスケールの大きさを演出する。

「楓の海」山々に抱かれて

紺碧の海、入り組む海岸線、緑なす山々。松本高正さんの生前の言葉がよみがえってきました。「わしが一番好きな景色は英虞湾や。そんでも、一番きれいなのは五ヶ所湾やろな」

英虞湾(志摩市)の魅力は、島々と海岸線が織りなす繊細なハーモニーです。五ヶ所湾(南伊勢町)は、「楓江」という別名の通り、複雑な海岸線が楓の葉さながらです。南は外洋に面し、背後には山々が連なり、雄大さを演出します。この山は伊勢神宮の杜へとつながります。

五ヶ所湾を右に見下ろし西へ。ちょっと変わった景色が見えてきます。砂浜が二つの“海”を隔てています。相賀ニワ浜です。天橋立の伊勢志摩バージョンといったところでしょうか。写真右側の陸地側が「大池」で、かつては海だったのが陸に取り残された海跡湖です。

山間部を西へ飛ぶと見えてくるのが、通称「親子大橋」です。写真左が“親”の南島大橋、右が“子”の阿曽浦大橋。山の緑と海の青に、赤い橋脚がよく似合います。

さらに西へ向かうと、熊野灘の黒潮洗う鵜倉半島。海の青も木の緑も一段と濃く感じられます。左の沖合にかすむのが見江島。伊勢志摩国立公園の特別保護地区で、イワツバメが繁殖し、冬を越します。黒潮が運んできた温暖な気候の恵みです。

(撮影=松本高正さん　文=安藤正雄)

海跡湖の大池(右)と海とを隔てる相賀ニワ浜。天橋立を連想させる。

南島大橋(左)と阿曽浦大橋(右)。美しい“親子”のツーショットを楽しめるのは鳥の目ならでは。

熊野灘に突き出た鵜倉半島。左奥にかすんで見えるのが見江島。

▶ インタビュー　伊勢志摩と私

2016エコツーリズム 全国大会にむけて この秋、シンポ開催

伊勢志摩国立公園指定70周年事業実行委員会会長　志摩市

山本教和（のりかず）さん

「伊勢志摩サミット」決定で、志摩の自然景観が改めてクローズアップされています。
来年迎える国立公園指定70周年事業とサミットをどう連動させていくか――、
三重県議であり、伊勢志摩国立公園協会長の山本教和さんのリーダーシップに期待がかかっています。

伊勢志摩サミット決定を祝って、市役所ロビーでは大口志摩市長らの手でくす玉が割られた。大勢の市民らと喜びあう山本教和会長。（右から2人目）（写真は志摩市提供）

志摩の景観の素晴らしさ

――「伊勢志摩サミット決定」のニュースには、どんな感想を？

うれしかったですよ。遷宮があって伊勢を中心に1400万人という、かつてないような沢山の人に来てもらった。けれど鳥羽はともかく志摩地域の方にも、もう少し観光客の方々に来てほしかったなあ、という声を聞いています。志摩の人間にとっては、今回は舞台が賢島ですから、志摩の良さをアピールする絶好の機会ということで、これから期間は短いですけど、みんながその気になって「おもてなしの心」を育んでいかねば、と思いますね。

――伊勢志摩国立公園との関わりは、いつごろから？　何かきっかけが。

議員になった昭和62年には、もう協会の顧問になっていましたから、30年弱の関わりがある。それに、私が住んでいる大王町は登茂山（ともやま）をかかえていて、特別地域ですので、自然を大事にしなくちゃいけないという認識は幼い頃から教えられていました。

ちょうどリゾート法（平成元年）が始まった時で、鳥羽の水族館が建て替えられたり、志摩に大きなホテルができたり。けれど今思えば、緑に覆われてすばらしい景観を誇るところが乱開発されずに来れたというのは、やっぱり自然公園法という法の網が掛かっていたからという感じがします。

地域の隠れた情報を発信

――伊勢志摩国立公園は民有地が9割を超えます。その中で協会の役割は？

それだけに難しいですけど、関わりのある各種団体、観光協会とか、旅館組合とか、それに行政などの役割がそれぞれあると思うんです。もちろんここを訪れてもらいたいという意識は一緒ですけど、我々は自然景観を守ったり保護したりという中で、どう利便性を提供していくかということが主眼です。これからは環境省ビジターセンターの方々と意思疎通を綿密なものにしながら、地域を守っていく役割を担っていくのかなあと。

――志摩市では「里海（さとうみ）」について先進的な取り組みをしていますね。

間崎島（まさきじま）などを海の拠点とすべく、市は推進室を中心にやっていますけど、国立公園協会として我々が入ってできることがあったら、協力していくつもりです。ハード面だけでなくソフト面でも・・・。

全国的に海に親しむ人が少なくなってきていますけど、臨海学校など、子どもが自然に触れる場面を提供して訪れてもらうとか。地域の隠れた良さが、まだまだ発信されていない。むしろいろんなことが出来る可能性のある地域です。それをトータルで発信して訪れてもらうのも、協会の役割の一つかと思います。

志摩市への愛着は人一倍強い。海女人形の前では慈しむようにじっと見つめて海女漁の振興に思いをはせる。（鳥羽ビジターセンターで）

今年は英文「ことマップ」を

――サミットが決まり、伊勢志摩は世界からも注目されています。来年70周年に向けての記念事業は？

11月がその本番の月で、エコツーリズム※1の全国大会を開催します。これは環境省も入っての大きな事業です。

今年はそのプレイベントとして、知事を囲んで関係する市町長と地域の若者がやるシンポジウムを11月に開く。それと「ことマップ」。この地域にはこういう《こと》ができる所があると、50のことを紹介する英語版のパンフレットを作成し、外国人にも活用しやすいようにする。「志摩を一周したいけどどう行ったら？」とか、「英虞（あご）湾の夕景を撮りたいけど…」とか、こういう人たちが増えていますから。鳥羽はもちろん志摩にも訪れてもらう要素、光を当てれば生き返っていくところがあると思います。

――今や地域も国民も、国立公園より「世界遺産」に関心が高いようですが。

国立公園は全国に32ありますが、その中で、二千年も続く文化と伝統の伊勢神宮があって、真珠が採れて、海女がおって、リアス式海岸があって、そのうえ食べ物もおいしい、というような所は、ここ以外ほかにはないですよ。

現在、海女さんの世界遺産登録を目指しています。海女さんは大事な職業でありますが、無形文化財に登録されることが本来の仕事じゃない。真珠も海女さんも、継続して育成していくことが大事で、これは水産振興なんです。衰退してしまって、観光の一分野で終わってしまうのではいけない。

観光とはオーバーラップしますけど、国立公園協会の独自性を出すにはその役割を再認識することです。それは、保護とともに活用です。今、あまり知られておりませんが、「東海自然歩道」※2をもう1度活性化させていくとか、やらないといけない事業はまだあると思います。

――サミットと関連する事業も？

サミットの姿が見えてきたら徐々に連動させながら…。例えば国立公園のマツクイムシ対策。パールロード沿いなど、最近また茶色の松の木が見受けられる。この機会にきれいに整備するのも、協会の出番かなと思います。首脳が来て、枯れた松を見せるのはあかんですから。

※1：**エコツーリズム**
エコロジーとツーリズムを組み合わせ、観光や旅行を通じ、自然保護や環境保全への理解を深めようという考え方。環境省の取り組みで2007年に推進法が制定された。

※2：**東海自然歩道**
東京の高尾～大阪の箕面までの太平洋ベルト地帯の背後に設けられた長距離自然歩道。厚生省の提案で1970年から関係自治体の協力のもと整備が進められ、1974年に完成。その後を環境省が継承している。

やまもと・のりかず
1947年（昭和22）旧志摩郡（現志摩市）大王町波切で生まれる。1971年慶応義塾大学卒業、同年松坂屋に入社。衆議院議員の秘書を経て、1987年三重県議会議員初当選、2011年～2013年議長、現在8期目。2007年から伊勢志摩国立公園協会長、今年5月に伊勢志摩国立公園指定70周年事業実行委員会会長に就任。

後書き帳

県議の肩書をもつが、すごく気さくな方。その山本さんの自然保護の原点となっているのは子どもの頃から泳いだりして親しんだ波切（なきり）（志摩市大王町）の海。かつては、志摩の海を目当てに多くの観光客が詰めかけました。近年、その海に親しむ人が少なくなっている現状を憂いながらも、隠れた良さを発信して、自然の魅力を知ってほしいと、熱く語る山本さん。いつしか志摩の人の顔と言葉になっていました。（中村賢一）

新 別宮へお参りに

20年に一度行われる、お伊勢さんの式年遷宮。
平成25年には内宮・外宮の両正宮で、そして昨年度には別宮14宮がすべて真新しくなりました。
遷宮を終えたばかりの真新しい別宮へお参りに――。
今回は、ハイカーでにぎわう熊野古道沿いにある、大紀町の瀧原宮を訪ねます。

取材・文＝中川絵美子
撮影＝阪本博文

神宮の別宮とは

伊勢神宮は内宮と外宮がよく知られていますが、ほかにもさまざまな神様をまつる神社が伊勢市内と近郊にあり、全部で125社あります。神宮125社は、正宮（内宮・外宮）、別宮、摂社、末社、所管社からなります。中でも「別宮」は、正宮と関わりの深い神様をおまつりする格式の高いお宮のことです。内宮の別宮は10所、外宮の別宮は4所あり、内宮・外宮の宮域、近郊を中心に、神宮とゆかりの深い志摩市（伊雑宮）や大紀町（瀧原宮）に点在しています。

内宮の第一別宮・荒祭宮

第３回

涼しげな川音が響く内宮の遙宮（とおのみや）
瀧原宮（たきはらのみや）へ
（大紀町）

参道からは瀧原並宮（左）の方が近いが、参拝は瀧原宮から。

緑深い山間にある「元伊勢」の別宮

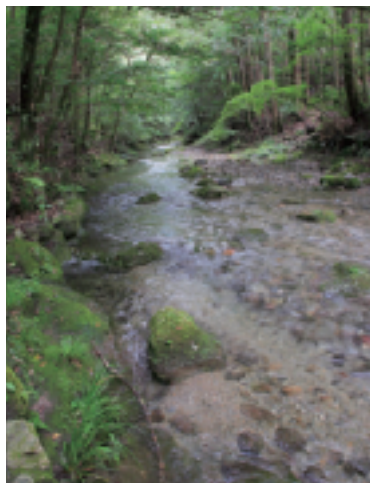
日本一の清流・宮川を上流へ遡ること約40キロ。大紀（たいき）町の緑深い山間に内宮（ないくう）の別宮・瀧原宮はあります。大紀町は、昔から林業が盛んな地域。室町時代には大杉谷（大台町）が御杣山（みそまやま）とされ、伐り出されたご用材は宮川を下り、舟運で伊勢へと運ばれました。

ここは、神宮の中で特に歴史の古い別宮。鎌倉時代に書かれた『倭姫命世記（やまとひめのみことせいき）』によると真奈胡神（まなごのかみ）の案内で「大河の滝原の国」を訪れた倭姫命が、土地の美しさに心惹かれ、社殿を建てて大神をまつられたのが起源といわれます。このように一時的に大神がまつられた伝承がある地や場所は「元伊勢」と呼ばれ、関西・中部地方を中心に数十カ所存在しています。

瀧原宮を訪れるなら、ぜひ熊野古道ハイクと合わせるのがおすすめです。伊勢から熊野三山へと巡礼者がたどった熊野古道。あたりを歩くと「くまのみち」の道標や、旅人が足を休めた「足神さん」など何気ない路地からも、ひっそりと古道の息吹を感じることができます。

唯一の御船倉。

宮川のほとりにある多岐原神社。


滝原浅間山に源流をもつ頓登川。

44ヘクタールの宮域には古代さながらの原生林が。

現存する唯一の「御船倉（みふなぐら）」

大杉が鬱蒼と繁る参道は約400メートル。域内を流れる頓（とん）登（ど）川に沿って参道が続きます。つねに聞こえるせせらぎの音に癒されながら、自然林を歩きましょう。途中、苔むした石段を下ると、頓登川の川原が自然の御手洗場（みたらし）となっています。そそり立つ老杉、谷から吹き上げる冷気に心がシャキッとします。

敷地内には、瀧原宮をはじめ4つの社殿があります。瀧原宮の隣にあるのが瀧原並宮（たきはらのならびのみや）。瀧原宮・瀧原並宮どちらも天照大神（あまてらすおおみかみ）の御魂（みたま）をまつっています。

本宮に向かい右側、小高い丘に立つのは若宮神社。瀧原宮の所管社で創立年は不明なものの、鎌倉時代には社殿が存在していたことがわかっています。天水分神（あめのみくまりのかみ）の伝説が残り、水の神様をまつるといわれます。若宮神社へ続く石段のふもとにあるのは長由介（ながゆけ）神社。瀧原宮の御饌（みけ）を司る社と言われています。江戸時代には長由介が「長生き」に通じるとして、長寿祈願の参拝者でにぎわったとか。

本宮に向かい左側にあるのは御船倉です。ご神体を覆う御樋代（みひしろ）をお納めする「御船代（みふなしろ）」を収納する倉とされていますが、古代以来の宮川の水上交通を象徴する説、倭姫命が巡幸で使われていた御船が納められていた？という説などさまざまです。かつては正宮や他の別宮にもあったそうですが、現存しているのはここだけです。

マツヤセイカ
あいとりうがも
旅のおみやげに、松屋のキャンディ
三重県の食材を使用したキャンディです

お白石持飴（袋入り）
200円［税別］

御神酒飴（袋入り）
500円［税別］

御神酒飴（袋入り）
200円［税別］

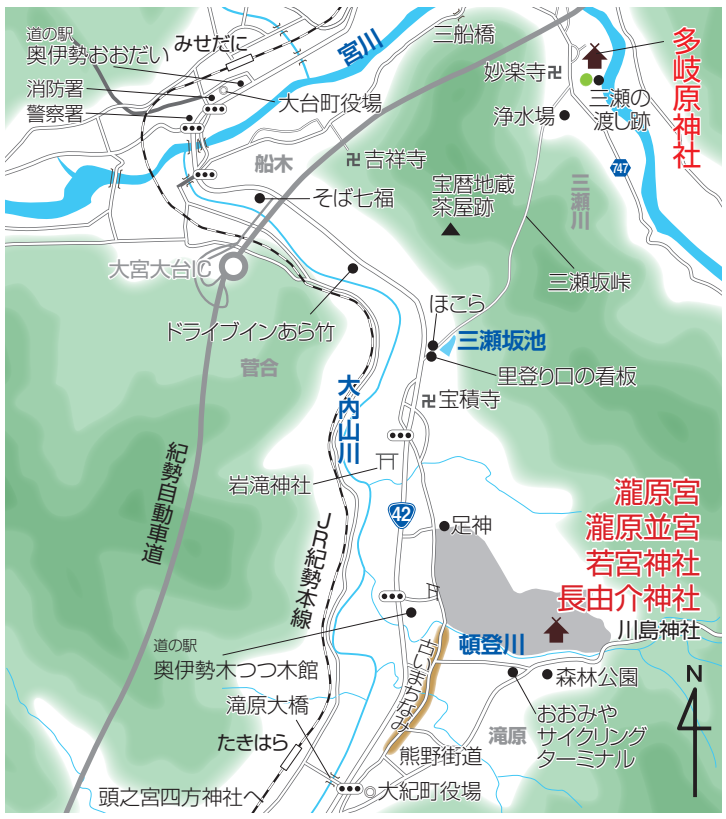
200円［税別］
Miex（みえックス）キャンディ2
レモン飴（南部のマイヤーレモン）
新姫飴（熊野市の柑橘）
塩飴（尾鷲市の海洋深層水）
松屋製菓株式会社
〒516-0802 伊勢市御薗町新開307-1
TEL.0596-36-1838 FAX.0596-36-4629
http://www.matsuyanet.co.jp

第27回 全国菓子大博覧会・三重
テーマ お菓子がつなぐ「おもてなし」を世界へ
開催期間 平成29年4月21日（金）～5月14日（日）
会 場 三重県営サンアリーナ及びその周辺（伊勢市）
シンボル展示／工芸菓子展示／全国のお菓子の販売／フードコート
お問い合せ 第27回全国菓子大博覧会・三重実行委員会事務局
〒516-8566 伊勢市勢田町628番地2 三重県伊勢庁舎
TEL 0596-63-5489 FAX 0596-63-8527
http://www.kashihaku-mie.jp

アクセス

瀧原宮まで

所 度会郡大紀町滝原872
交 JR「滝原駅」から徒歩20分程度。
車で紀勢自動車道「大宮大台IC」からR42を尾鷲方面へ約5分。



帰りは、瀧原宮の下流約6キロにある「多岐原神社」へも足を伸ばしてみましょう。宮川の急流の瀬を渡りあぐねていた倭姫命を助けた真奈胡神をまつった神社で、すぐ下の川原には熊野街道・三瀬の渡し跡があります。現在は使われていませんが、平成21年に地元の「大台町ふるさと案内人の会」が渡し舟を復活。イベント時や事前予約すれば体験することができます。また「多岐原神社」から三瀬坂峠を通り、瀧原宮へ向かうルートも古道ハイク客に人気のコースです。

ひと休み

●頭之宮四方神社

日本で唯一「頭之宮」と名付く神社。学業成就はもちろん、最近では仕事のアイデアを求めて訪れる人も多い。境内には「頭之石」やご神徳のある湧水などパワースポットがたくさん。例大祭は11／16(月)。前日15(日)にはにぎやかに奉祝祭が行われる。(詳細はP15参照)

度会郡大紀町大内山3314-2
TEL 0598-72-2316

■大台町ふるさと案内人の会

今回ご案内いただいた地元ガイドの筒井敏さん。同会は、大台町内の歴史文化の案内人として近郊の古道案内も行っている。

○ガイドを希望の場合は、電話かFAXにて要事前申込み。(有料)

問 大台町ふるさと案内人の会事務所
(木曜、日祝日は休み)

TEL 0598-83-3777(喫茶「ラ・メール」内)

神宮の祭り暦

神御衣奉織始祭

10月1日(木)
神服織機殿神社・神麻続機殿神社(松阪市)

春と秋の神御衣祭を前に、絹布を織る神服織機殿神社と麻布を織る神麻続機殿神社で5月・10月に行われます。両機殿とも織子として奉仕する地元の方が参列し、御饌と原料の糸をそなえ、奉織の無事を祈ります。神事が終わると八尋殿の扉が開かれ、4～5日かけて織られます。

倭姫宮秋の例大祭

11月5日(木)
倭姫宮(伊勢市)

第11代垂仁天皇の皇女・倭姫命の功績をたたえて、倭姫宮御杖代奉賛会により5月5日と倭姫宮が鎮座された11月5日に催されます。境内では舞楽が公開されるほか、今年は、倭姫宮の遷宮奉祝行事も同時開催。徴古館前に奉納舞台を設置し、津軽三味線、オカリナをはじめ全国各地からの奉納演奏などが行われます。

御塩殿祭

10月5日(月)
御塩殿神社(伊勢市)

年中の諸祭典に欠かせない御料の塩を焼き固めるにあたり、その作業がつつがなく行われるよう祈願します。あわせて日本の塩業が発展するように祈られます。祭が終わると、社殿隣の御塩殿で、夏に作った荒塩を三角錐の土器に詰めて堅塩に焼き固める、堅塩の奉製が5日間かけて行われます。

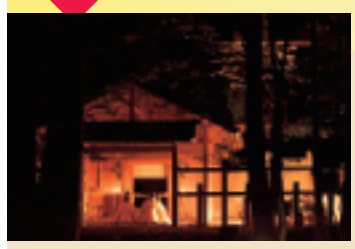
その他の祭・行事

10月13日(火)	神御衣奉織鎮謝祭(神服織機殿神社、神麻続機殿神社)
10月14日(水)	神御衣祭(皇大神宮、荒祭宮)
11月23日(月)～29日(日)	新嘗祭(皇大神宮、豊受大神宮ほか別宮以下諸宮社)
12月1日(火)	御酒殿祭(内宮御酒殿神)

神宮のQ&A

回答＝神宮司庁広報室、文＝編集部

Q1. 神嘗祭とはどんなお祭りですか？



A. 神嘗祭は、天照大神にその年の初穂をお供えし、豊穣に感謝する1年で最大のお祭りです。伊勢地方では神嘗祭を「大祭」とも呼び、神宮の祭典の中心をなしています。両宮はもちろん、10日間かけて別宮以下、125社すべての社で行われます。

日程　10月15日(木)～25日(日)
外宮　15日　由貴大御饌／16日　奉幣・御神楽
内宮　16日　由貴大御饌／17日　奉幣・御神楽

Q2. 神嘗祭ではどんなものがささげられますか？

A. 由貴大御饌では、神田で作られた新米の御飯・御餅をはじめ、アワビ・タイなど海山川野のおよそ30種類の品々などが供えられます。「由貴」とは「斎み清めた酒」という意味で、神饌に白酒・黒酒・醴酒・清酒といった初献の4酒、身取鰒、玉貫鰒、干鯛など古例による特別な神饌がおそなえされます。

翌日は、勅使(天皇の使いのもの)が参向されて、天皇からの幣帛が奉られます。その夕刻には、御垣内の四丈殿で神宮楽師によって御神楽が奉奏されます。また全国の崇敬者から懸税として、刈穂が内玉垣に掛けてお供えされます。

悠久に価値あるものを守りたい 日米2人の思いが共鳴して——

横山展望台から英虞湾を望む。絶景のリアス式海岸に真珠筏が浮かぶ、伊勢志摩を代表する風景だ。

今年、「2016年・伊勢志摩サミット決定」の報は全世界に発信され、一気に伊勢志摩へ注目が集まりました。しかしすべては70年前、戦後初の国立公園の指定から始まっていたといえます。その背景には、日本人とアメリカ人、立場を異にする2人の献身的な働きがあったのです。

先駆者たち pioneer.3

2人の恩人

石神甲子郎 技官
ウォルター・D・ポパム 大尉

PROFILE

Walter D.Popham
GHQ民間情報教育局の国立公園主任官として米国より日本に赴任。元ミルウォーキー博物館館長。造園家として米国国立公園局に勤めたこともあった。昭和21年(1946)10月、国立公園候補地の伊勢志摩を視察訪問した後、献身的にGHQとの折衝を担い、戦後初の国立公園誕生へと導いた。

いしがみ・こうしろう
大正14年(1925)東京帝国大学農学部卒業後、内務省明治神宮造営局に奉職。明治神宮外苑造営、内苑林苑主任として奉仕した後、内務省衛生局技師を務める。昭和20年(1945)8月の終戦後、厚生省国立公園部技官に。造園技術者として、戦時中中断されていた国立公園行政復活に貢献した。

日本人として守るべきもの

国破れて山河あり——。太平洋戦争により国土の多くが焼野原となった日本に、昭和21年(1946)、伊勢志摩が国立公園に指定されるという明るいニュースが駆けめぐりました。

地元では昭和初期から国立公園実現に向けた運動が繰り広げられており、昭和18年(1943)、厚生省より県に、志摩が候補地の一つとなったとの知らせがありました。しかし、地元の喜びもつかの間、戦況悪化によって国立公園の一切の業務は停止。当時、厚生省で業務にかかわっていた一人が石神甲子郎技官でした。

昭和20年(1945)8月、終戦。戦後の復興はGHQ(連合国軍総司令部)の占領下で進められることになりました。終戦から3カ月経ったある日、GHQから国立公園をはじめ重要な公園などを保護し、維持管理するようにとの指令が出ます。そこで石神技官がリーダーとなり、国立公園行政の復活に向けて動き出しました。

そのような時、伊勢神宮の幹部がそろって石神技官を訪ねてきたのです。戦後すぐに、伊勢神宮に対しGHQは国家神道排除指令を出し、神宮は厳しい試練の時を迎えていました。式年遷宮に備えていた用材や、神宮林の樹木を提供せよ、などと押しかける団体。アメリカ兵がジープで表参道に侵入する事件も度重なるありさま。防衛策として伊勢神宮の宮域を志摩とともに国立公園とし、法により保護されることを願ってのことでした。

かつて明治神宮で造園を手がけたこともある石神技官は、その窮状を痛いほど理解するものの、GHQの指令には抗し難く苦悩しました。悩み抜いた末、候補地の視察の時こそがチャンスと考えたのです。

ポパム大尉の鑑識眼

翌年、GHQは全国の国立公園および指定候補地の視察を開始。案内人として日本側から石神技官ほか数名、GHQからは国立公園主管のウォルター・D・ポパム大尉、天然記念物課長のホリス少佐が同行しました。主管のポパム大尉は元ミルウォーキー博物館館長で東洋美術にも造詣が深く、事前に神宝調査等で伊勢神宮を何度か訪れ、その文化財としての価値と保護の緊急性を深く認識していた人物です。

伊勢志摩の視察は10月17日、伊勢神宮の神嘗祭(かんなめさい)に合わせて行われました。五十鈴(いすず)川の瀬音のみ聞こえる中で粛々と行われる神事は、参列者に何ごとかを伝えたに違いありません。後に、ホリス少佐は「伊勢神宮の神域が最も印象的であった」と語っています。

翌朝、一行は志摩へと向かい、真珠筏が浮かぶ英虞(あご)湾を一望する横山展望台で野外のランチを楽しんだ後、多徳島(たとくじま)で御木本幸吉(みきもとこうきち)翁と面会。幸吉翁はお得意の“真珠外交”で場を盛り上げたといいます。

かくしてGHQによる視察は無事に終わり、ほどなくポパム大尉から石神技官のところへ、伊勢志摩のみについて正式指定の書類提出の指示が入ります。視察から約1カ月後の11月20日、異例のスピードでの国立公園誕生となりました。

なぜその時伊勢志摩だけが選ばれたのか、はっきりとした理由は分かりません。しかし戦後の混沌の中、立場を異にする2人の「良きものを守りたい」との純粋な思いが共鳴し、固有の自然・文化が国立公園誕生によって保護されたのは確かです。こうして伊勢志摩は、日本屈指の観光地へ大きな一歩を歩み出したのです。

GHQの占領下で生まれたこの国立公園が、70年の時を経て主要国首脳会議の地に選ばれました。2人の先駆者は天国で会心の笑みを交わしていることでしょう。

(文＝新井千尋)

昭和23年7月、米国国立公園局の伊勢志摩視察にて(大王崎)、ポパム大尉と石神技官ら一行。『伊勢志摩国立公園50年史』より転載。

参考文献:『伊勢志摩国立公園50年史』(伊勢志摩国立公園指定50周年記念事業実行委員会)
『自然より学ぶ』石神甲子郎著、『神宮・明治百年史』(神宮司庁)

本連載は今回で最終回となります。尚、バックナンバー(1回、2回)はウェブサイト上で公開しています。
▶http://www.isebito.com/palk/index.html

「起伏のある広大な神域を独特の荘厳さで包んでいる、
日本で最もすばらしい木である檜の杜に
強く印象づけられている……」

イザベラ・バード(イギリス、女性旅行家・紀行作家)

Isabella Bird (1831～1904)
ヨークシャー生まれ。幼い時に病弱で北米まで転地療養したことをきっかけとし、当時は珍しい女性旅行家として世界中を旅した。1878年(明治11)来日、東京・東北・北海道と関西を旅行し、『日本奥地紀行』を書いた。伊勢では神宮を訪れた印象を記している。

伊勢志摩サミット開催記念
2016年版　伊勢講暦　11月中旬発売
テーマ「伊勢からのメッセージ」
伊勢神宮を訪れた外国の著名人(6人)が残したメッセージを、神域の美しい写真と共に紹介します。

予約受付中
定　価／1部　648円(税込)
送付の場合　1部／1,248円(送料・紙筒代込み)
2部／1,896円(送料・紙筒代込み)
※3部以上はお問い合わせください。
販　売／三重県の主な書店でお求めください。
申し込み／郵便振替用紙(郵便局)にご記入の上、お振り込みください。
口座番号　00820−2−4239
加入者名　伊勢文化舎

発行／伊勢文化舎　〒516−0008 伊勢市船江2丁目22−25　TEL 0596・23・5166　FAX 0596・23・5241　URL http://www.isebito.com/　Eメール otayori@isebito.com

五ヶ所湾・礫浦（さざら うら）に伝わる ソマカツオの塩切り

氏神さまにも供える珍味が全国誌の企画
「日本一のお取り寄せ」でグランプリに！

いぬい・じゅんこ
旅の雑誌「伊勢志摩」創刊に参画。編集長時代に、『真珠王ものがたり』『お伊勢さんの遷宮』『宇治橋ものがたり』『三重の自然を歩こう』など、三重県全域をフィールドに数多くの単行本を手掛ける。顧問を経てエッセイストに。海外体験エッセイ『目からウロコがほろほろり』。

撮影＝溝口照正（アンプレ）

発酵食品は先史時代に始まり、数万年の歴史があるといいます。お国ぶりもさまざまで、洋のチーズ、華のタウシー、和の納豆…、ひとクセあるものでも一度食べると病みつきになるのが、発酵食品の魔力というものでしょう。

五ヶ所湾（南伊勢町）の西岸、漁業の町・礫浦に、話題となっている発酵食品があると聞いて訪ねました。

その名は、「ソマカツオの塩切り」。地元では“ソマの塩切り”と短く呼ばれている馴染みの食べ物だそうです。

もともと熊野灘沿岸の浦々に伝わる保存食で、秋に大甕（かめ）に漬け込み、魚の採れない2～3月にとり出して食したものだとか。今はむしろ酒の肴、ご飯の友とされているようすです。

岬と入り江が美しい五ヶ所湾・礫浦の丘の上に「とよや勘兵衛」はたっている。

これを取り寄せのできる商品としたのは南伊勢町礫浦の料理旅館「とよや勘兵衛」の3代目になる若主人・羽根豊樹さん（36）です。地元の高校を出てから、家業をつぐべく調理師学校へ。実は小さい頃、包丁で手を切ったことから、料理するのが怖くなった時期もあったとか。そんな話が信じられないくらい、魚さばきに冴えがあります。

原料となるソマカツオはサバ科で地方名の多い庶民派の魚。生なら刺身や魚すきで食べることが多い。

もともと「塩きり」とか「塩もん」と呼ばれてきたふる里の味。全国版にしたのは、新世代の食センス。東京日本橋の三重テラスでも販売中。

「仕込むのは魚の揚がる秋の一時期で、あとはじっくり時間をかけて寝かせるだけ。親たちとわたしら夫婦の4人で仕込んでいます」

体長およそ60センチのソマカツオ（ソウダガツオ属のヒラソウダ）がこの辺りで水揚げされるのは10月から12月のほぼ3カ月間。これを背開きにし、荒塩をたっぷり擦り込み、ひと樽に70本ずつ内臓もろとも詰めて、ずっしりと重しをかけておく。

「常温で熟成がすすみ、3カ月くらいで良い味になります。でも、2年以上おいたものもトロッとした丸みがでてうまいんですよ」

貯蔵庫の樽を開けると、発酵した魚醤のような独特な匂いが立ち上る。

貯蔵室に案内してもらい、昨年と一昨年の樽を見せてもらいました。落し蓋をとり除くと、赤褐色の液がたっぷりと出ていて、漂い出る発酵特有の匂い。羽根さんが液の中を探ると、身の締まったソマカツオが現れました。生の時の3分の1の重さになっているとか。

「泊り客には、夕食のときに酒肴としてお出ししているんです」

薄くスライスしたものを食べてみると、おっ、これは和製アンチョビ！

しょっぱさの中に青み魚特有のクセが旨みに変化し凝縮されています。人により好みはあるでしょうが、病みつきのファンがいるというのもうなずける味。イタリアンのパスタ料理に使えば、食通の友達が「これ何？」と目を見張りそう。

このソマの塩切りが、雑誌「BRUTUS（ブルータス）」の「日本一のお取り寄せ」“ごはんの友”部門で、2014年のグランプリに。今やファンは各地に広がり、ネット注文は数カ月待ちの状態とか。早く手に入れるには製造元に出向くのが一番なのです。

かっちょび（オリーブオイル浸け 1瓶）800円
ソマカツオの塩切りスライス（14枚）500円

11月、礫浦地区の八幡（はちまん）神社例大祭では、〈塩切り〉を供える神事が行われるといいます。素材は、カツオ、鯛、それにクエ、と豪華版！　祭りを仕切る当屋（とうや）は、伝統の装束に身を整え、熟成した3種の塩切りを箸と包丁のみで調理し、神饌（しんせん）として神前へ。自分たちが美味しいと思うものを神さまにお供えする――昔も今も海に生きる礫浦は、日本の神祭りの神髄を珍味に託して伝えているかに思えます。

八幡神社の例大祭では、カツオ・鯛・クエ、3種の塩切りのほか、蒸した伊勢エビも神前にそなえる慣わしだ。
この神社の背後にある古墳からは、1メートルもある太刀が出土した（南伊勢町「愛洲の館」に展示中）。

アクセス

伊勢市駅前から三交バス五ヶ所行き、五ヶ所下車、約50分。五ヶ所から町営バス相賀行き（本数が少ないので時刻表を確認）礫口下車、約30分。車の場合は、玉城ICからサニーロード経由で礫浦まで約40分。

とよや勘兵衛
度会郡南伊勢町礫浦153
電話：0599-64-2038
FAX：0599-64-3333

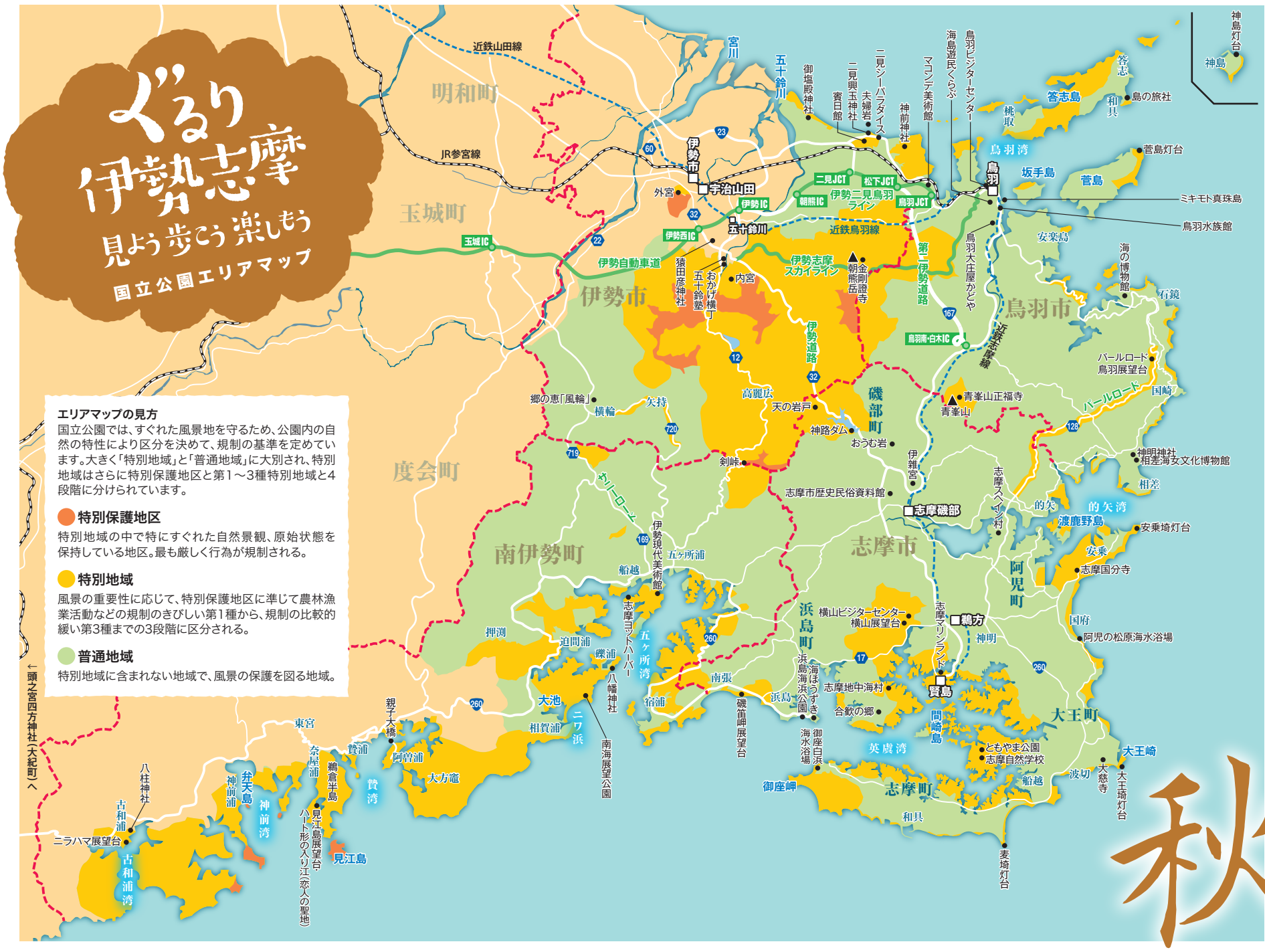
南伊勢学検定テキストブック
『あばばいっ南伊勢』
自然豊かな南伊勢の魅力が満載！
旅のガイドブックとしても最適です。

好評発売中
定価
1,000円+税
A5判 152頁
県内の主要書店
他で販売
Amazonでも
購入できます

発行／南伊勢町商工会 TEL 0599・66・0054　FAX 0599・66・1687
発売／伊勢文化舎　TEL 0596・23・5166　FAX 0596・23・5241

あばばいっ検定（南伊勢学検定試験）
試験日　平成28年2月20日（土）
（試験日が変わりました）
● 子ども検定　南伊勢町在住の小学生のみ　4年生～6年生
● 大人検定（初級編）
対象 中学1年～大人　受験料 中高生無料、大人 1,000円（税込）
会場（予定）南勢中学校（船越）、南島中学校（東宮）
定員 各会場 50名　試験『あばばいっ南伊勢』より出題
申込期間 9月24日（木）－11月30日（日）必着
ただ今申し込み受付中！
お問い合わせ　南伊勢町商工会 検定係　TEL 0599・66・0054
〒516-0101 度会郡南伊勢町五ヶ所浦 988-78

ぐるり伊勢志摩
見よう歩こう楽しもう
国立公園エリアマップ



エリアマップの見方
国立公園では、すぐれた風景地を守るため、公園内の自然の特性により区分を決めて、規制の基準を定めています。大きく「特別地域」と「普通地域」に大別され、特別地域はさらに特別保護地区と第1～3種特別地域と4段階に分けられています。

特別保護地区
特別地域の中で特にすぐれた自然景観、原始状態を保持している地区。最も厳しく行為が規制される。

特別地域
風景の重要性に応じて、特別保護地区に準じて農林漁業活動などの規制のきびしい第1種から、規制の比較的緩い第3種までの3段階に区分される。

普通地域
特別地域に含まれない地域で、風景の保護を図る地域。

秋

編集部のおすすめ!!情報

●志摩市の観光は、サイクリングで!

海と山がある里海のまち・志摩市には、自然豊かな土地だからこその絶景ポイントがたくさんあります。志摩スポーツコミッションでは、志摩市内の飲食店・宿泊施設・観光施設などと連携して、サイクリングの観光客にやさしい街づくりを推進しています。各所にサイクルラック（駐輪設備）を設置し、初級～上級に分けたサイクリングコースを紹介するサイクルマップを作成。コース上の見どころやトイレなどを記しています。本格的なサイクリストだけでなく、気軽に自転車で観光できる情報も充実。自転車で伊勢志摩の風を感じながら、マイカーや電車旅では見逃してしまう魅力を探してみましょう。

○11/29（日）には第2回伊勢志摩サイクリングフェスティバルを開催。詳細は右頁。

問（一社）志摩スポーツコミッション
TEL 0599-44-4450
※サイクルマップはHPからもダウンロードできます。
http://shima-chari.shima-sc.or.jp/

●夫婦岩の中心から月の出を眺めよう

二見興玉（ふたみおきたま）神社のシンボル「夫婦岩」は、古くより日の出遥拝所として知られてきました。夏至の時期は夫婦岩の中心から朝日が昇り、夏至祭が行われて多くの人でにぎわいます。しかし、冬至を基準とした10月～1月の満月の頃には、夫婦岩の間から月を見ることができるのをご存知でしょうか。静かな海にぽっかりと満月が浮かぶ光景はとても神秘的。ぜひ、訪れてみては。

○夫婦岩の月の出は次の通り。
10/26～30　16:20～19:30頃
11/25～29　16:30～20:10頃
12/24～28　16:00～20:00頃
1/23～27　17:30～21:20頃

問 二見興玉神社　TEL 0596-43-2020

●「海女サミット2015 in 鳥羽」を開催

日本には約2000人の海女さんがいるといわれ、現在、鳥羽志摩地域では全国最多となる約700人の海女が操業しています。しかし漁獲量の減少により、海女漁そのものの衰退が危惧されています。

そんななか、海女文化の保存・継承とユネスコ無形文化遺産の登録をめざして「海女サミット2015 in鳥羽」が開催されます。全国の海女約100名が一堂に会し、海女たちの円卓会議やあわび稚貝の記念放流、また日韓海女フォーラムとして、日本と韓国の海女の交流などが行われます。

時 11/6（金）、11/7（土）
所 鳥羽商工会議所かもめホール、答志島コミュニティアリーナ（日程によって異なる）
問 海女サミット実行委員会事務局（鳥羽市農水商工課内）
TEL 0599-25-1167

●南伊勢町　漁村ならではの祭「頭屋（とうや）祭」

南伊勢町古和浦（こわうら）にある八柱（やはしら）神社。12月に行われる例祭では、漁村ならではの「カスギの儀」が行われます。カスギ（コブダイ）は、成魚になると前頭部にコブのような膨らみができる魚。料理人により、カスギ・タイ・エビなどが調理され、検分役らにお神酒とともにふるまわれます。その後、大釜のお湯を神主が一般客に浴びせかせる「湯立て神事」があり、祭の役員が太鼓に合わせて、鯛釣り、弓引きを行い、一般客が鯛と矢を奪い合います。漁師だけでなく、たくさんの老若男女でにぎわいます。

時 12/1（火）13:00～
所 南伊勢町古和浦、八柱神社・第一公民館
問 古和浦区事務所　TEL 0596-78-0030

季節のまつり

9月

来る福招き猫まつり
時 9/12(土)～29(火)
所 伊勢市、おかげ横丁一帯
問 おかげ横丁総合案内
TEL 0596-23-8838
○毎年9月29日は来る福招き猫の日。おかげ横丁に30000体以上の招き猫が集まり、福を招く。

10月

魚魚(とと)まつり
時 10/8(木) 10:00～14:00
所 鳥羽市、鳥羽駅周辺
問 鳥羽旅館組合　TEL 0599-25-5096
○10/8(とばの日)に開催。ステージイベントや各種ブースで賑わう。

浜島大祭
時 10/10(土) 10:00～17:00
所 志摩市浜島町、宇気比(うけひ)神社
問 志摩市観光協会　TEL 0599-46-0570
○五穀豊穣・大漁満足、山の幸・海の幸に感謝する祭り。神社での例祭のあと、浜島音頭とともに神船が町内を練り歩く。

伊勢まつり
時 10/10(土) 10:00～21:00
　　11(日) 10:00～17:45
所 伊勢市、高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線(尼辻交差点)～伊勢市駅周辺
問 伊勢まつり実行委員会事務局
(伊勢市市民交流課内)
TEL 0596-21-5549
○伊勢音頭などの踊りパレード、太鼓演奏、地場産品の物産展など。10日夜には手筒花火も披露される。

第15回鳥羽クラフト展
時 10/10(土) 10:00～17:00
　　11(日)　9:00～16:00
所 鳥羽市、市民の森公園
問 鳥羽市観光協会　TEL 0599-25-3019
○全国から芸術家・工芸家100名近くが集まり、工芸品の展示即売がある。

ガイアシンフォニー「地球交響曲第八番」上映会
時 10/10(土) 午前の部 10:30～
　　午後の部 14:00～
所 南伊勢町、ふれあいセンターなんとう
問 南伊勢上映実行委員会
TEL 090-7044-3802(中野さん)
090-6390-1125(田畑さん)

初穂曳(はつほびき)
時 10/15(木)
外宮領・陸曳(おかびき) 10:00～12:30
所 伊勢市、高柳商店街～外宮
時 10/16(金)
内宮領・川曳 10:00～14:30
所 伊勢市、五十鈴川～内宮
問 神嘗奉祝委員会(伊勢商工会議所)
TEL 0596-25-5151

○両宮へ初穂を奉納する。外宮へはお木曳車に載せて陸曳で、内宮へは川そりに載せて川曳で奉納される。

神嘗(かんなめ)奉祝祭・祭のまつり
時 10/15(木) 11:00～15:30
所 伊勢市、外宮・外宮前県道鳥羽松阪線・伊勢シティプラザ
問 神嘗奉祝委員会(伊勢商工会議所)
TEL 0596-25-5151
○日本三大民謡、三大盆踊り、三大パレードをはじめとした全国の有名な祭りが一堂に揃う。10/14(水)16:30～21:00に三重県営サンアリーナにて前夜祭あり。

ええじゃんかまつり
時 10/17(土) 11:00～20:00
所 志摩市阿児町、阿児アリーナ
問 ええじゃんかまつり実行委員会
TEL 0599-44-0290
(志摩市商工課内事務局)
○阿児海神太鼓、ええじゃんかおどりコンテストなどを開催。

海女の里・志摩和具ウオーク
時 10/25(日) 9:30～13:00
所 志摩市志摩町、和具漁港周辺
問 道ちゃん塾事務局
TEL 0599-43-5351
○和具の街中ウォーク、てこね寿司づくり体験、伊勢えび汁のふるまいなど。

みなとオアシスとば Festa 2015
時 10/31(土)～11/1(日) 10:00～16:00
所 鳥羽市、鳥羽マリンターミナル周辺
問 みなとオアシスとばFesta2015
実行委員会事務局(鳥羽市建設課)
TEL 0599-25-1175
○詳細は16頁参照。

11月

おさかなフェスタ南伊勢
時 11/7(土) 10:00～14:30
所 南伊勢町、奈屋浦市場
問 三重外湾漁協
TEL 0596-72-2244
○南伊勢町のおいしいお魚の販売とお魚に関連したイベントが盛りだくさん。

神恩感謝日本太鼓祭
時 11/7(土)・8(日) 10:00～17:00
所 伊勢市、おかげ横丁一帯
問 おかげ横丁総合案内
TEL 0596-23-8838
○全国各地の太鼓打ちが集まり、神宮の神様に「おかげさまの心」を太鼓の音で奉納する。

神社港まつり
時 11/14(土) 9:00～
所 南伊勢町、宿田曽地区全域
問 田曽浦区事務所
TEL 0599-69-3175

○かつてカツオ一本釣りの遠洋漁業が盛んだった宿浦・田曽浦地区が合同で、カツオやタイのみこしを住民らが担ぎ、豊漁や家内安全を祈願する。

頭之宮四方神社(こうべのみやよもう)　奉祝祭
時 11/15(日) 11:00～
所 大紀町、頭之宮四方神社
問 頭之宮四方神社
TEL 0598-72-2316
○伊勢神宮の楽師・舞女による雅楽の奉奏や伊勢大神楽による曲芸、頭之福餅の餅まきがあり、出店などでにぎわう。

第2回伊勢志摩サイクリングフェスティバル
時 11/29(日) 8:00～14:00(予定)
所 志摩市内(メイン会場:志摩スペイン村駐車場)
問 (一社)志摩スポーツコミッション
TEL 0599-44-4450
○志摩市内のコースを駆け抜けるサイクルイベント。コースの途中で志摩の絶品グルメが堪能でき、レースではなく誰でも楽しく参加できる。

12月

夫婦岩大注連縄張神事
時 12/12(土) 10:00～
所 伊勢市二見町、二見興玉神社
問 二見興玉神社　TEL 0596-43-2020
○年に3回行われる夫婦岩の大注連縄を張り替える神事。木遣唄のなか、お祓いを受けた注連縄が地元の氏子と参拝者によって夫婦岩へ張り渡される。

アート・企画展

※開館時間、休館日、入場料等は各施設へお問い合わせください

五十鈴蔵
所 伊勢市宇治中之切町26
赤福本店・五十鈴茶屋本店横
TEL 0596-22-2154(株式会社赤福)
「餅街道ものがたり展」
期 開催中～平成29年3月末頃(予定)

賓日館(ひんじつかん)
所 伊勢市二見町茶屋566-2
TEL 0596-43-2003
翠穂「きもの布が語る書」
時 10/31(土)～11/23(月・祝)
○伊勢市在住の女流書家、翠穂(太田穂摂)さんの作品展示。
第52回二見浦俳句大会
期 11/3(火・祝) 9:00～12:00
料 1000円
○古くより多くの文人が句を詠んだ二見浦で伝統ある俳句大会を開催。

鳥羽水族館
所 鳥羽市鳥羽3丁目3-6
TEL 0599-25-2555
イベント「生きものたちのアートな世界」
期 9/12(土)～11/3(火・祝)
○生きものたちが作り出すアートな形や色に注目したイベント。ユニークなカラクリ水槽も登場!
イベント「ビリビリツリーとイルミネーション」
期 11/21(土)～12/25(金)
○恒例のデンキウナギによるツリーのほか、クリスマスならではのイルミネーションも登場。

ミキモト真珠島　真珠博物館
所 鳥羽市鳥羽1-7-1
TEL 0599-25-2028
**企画展「ブライダルティアラ
—進化する憧れのかたち—」**
期 開催中～平成28年3/27(日)

海の博物館
所 鳥羽市浦村町大吉1731-68
TEL 0599-32-6006
特別展「サメはこわい?おいしい?役にたつ?」
期 9/12(土)～1/11(月・祝)

鳥羽大庄屋かどや
所 鳥羽市鳥羽4丁目3-24
TEL 0599-25-8686
「海上名月～高潤生と篆刻講座生の作品展」
期 9/19(土)～10/19(月)
「南部美智代　ミニ着物&人形展」
期 11/16(月)～12月上旬
○古着で作った着物を着た人形達で昔ながらの結婚式を再現。

伊勢現代美術館
所 度会郡南伊勢町五ケ所浦102-8
TEL 0599-66-1138
「江幡三香展」
期 10/3(土)～1/11(月・祝)

体験・エコツアー

五十鈴塾
所 伊勢市宇治浦田1丁目5-3
TEL 0596-20-8251
**「和食とは何か
～無形文化遺産としての和食～」**
期 11/11(水) 18:00～20:30
料 会員会費3800円/一般会費4300円
○伝承料理研究家・奥村彪生氏と民俗学者・神崎宣武氏のお話から、日本の文化として見直される和食が無形文化遺産に登録された本当の理由を探る。

海島遊民くらぶ
所 鳥羽市鳥羽一丁目4-53
TEL 0599-28-0001
砂浜ランチツアー
期 3月～11月
所 鳥羽市、菅島　料 6500円
○漁業が盛んな鳥羽の離島の自然と文化を専門ガイドが案内。島民の生活風習などに触れることができる。
つりざお片手に路地裏おさんぽツアー
期 4月上旬～7月上旬、9月上旬～11月上旬
所 鳥羽市、坂手島　料 5500円
○釣りをしたり、信号もなく車も走らない路地裏歩きを楽しむ。
海森ウォーク&漁家ランチツアー
期 10月～6月
所 鳥羽市、南鳥羽
料 12000円(ランチ付)
○海のそばの森ウォーク、海女とのふれあい、地産グルメなどを楽しむ。
※詳細は海島遊民くらぶへお問い合わせください。

島の旅社
所 鳥羽市答志町943
TEL 0599-37-3339
早獲れ　伊勢エビバーベキュー
期 9/19(土)・20(日)・23(水・祝)・26(土)・9/27(日)、10/3(土)・10(土)・11(日)
所 鳥羽市、答志島
料 6500円
○伊勢エビ漁の解禁日は10/1ですが、鳥羽の離島だけは9/15から解禁される。一足早く、地元で水揚げされた伊勢エビを味わうプラン。
※要事前申し込み。
詳細は島の旅社へお問い合わせください。

志摩自然学校
所 志摩市大王町波切2199
TEL 0599-72-1733
志摩の国ガイドウォーキング
期 大王埼コース　通年(GW、7・8月、年末年始除く)
的矢コース　12～2月限定
所 志摩市、大王町波切または磯部町的矢
○歴史深い志摩市の漁村やのどかな海辺の風景を見ながらまち歩き。かつお茶漬けや旬の牡蠣が味わえるプランがある。「大王埼コース」または「的矢コース」を選べる。

横山ビジターセンター
所 志摩市阿児町鵜方875-24
料 0599-44-0567
お月見体験
時 9/27(日) 18:00～20:00
所 志摩市、横山展望台
菅島ウォーク
時 10/10(土) 8:30～14:30
所 鳥羽市菅島町
金比羅山、不動尊を巡る
時 10/31(土) 10:00～14:00
所 志摩市、志摩町越賀～御座
秋の横山ウォーク
時 11/14(土) 10:00～14:00
所 志摩市、横山展望台周辺
南伊勢町歴史ウォーク
時 11/28(土) 10:00～14:00
所 南伊勢町(旧南島町)
ふたご座流星群と冬の星空観察会
時 12/14(月) 18:30～20:30
所 志摩市、横山創造の森山小屋
※集合場所はイベントによって異なるため、横山ビジターセンターへお問い合わせください。

地元の市

外宮奉納市
時 10/11(日)・12(月・祝) 10:00～15:00
所 伊勢市、外宮前バス停横周辺
問 伊勢商工会議所　TEL 0596-25-5151

河崎商人市
時 10/25(日) 10:00～15:00
所 伊勢市、伊勢河崎商人館周辺と河崎の町並み
問 伊勢河崎商人館　TEL 0596-22-4810
○蔵の残るまち・河崎に地元や近郊から物販・飲食など約100の出店が並ぶ。「伊勢のだいどこ市」も同時開催。

なかまちマーケット
時 10/25(日)、12/23(水・祝)
10:00～16:00
所 鳥羽なかまち(鳥羽3丁目～4丁目界隈)
問 鳥羽大庄屋かどや　TEL 0599-25-8686

秋の伊勢楽市
時 10/31(土)、11/1(日)
各日10:00～16:00予定
所 伊勢市、外宮前バス停広場周辺
問 伊勢市観光協会　TEL 0596-28-3705
○春と秋の年2回行われる、伊勢志摩地方の物産を集めた楽市。

サニー市 in南伊勢
時 12/20(日) 9:00～14:00
所 南伊勢町、町民文化会館駐車場
問 南伊勢町観光商工課　TEL 0599-66-1501
○玉城町、度会町、南伊勢町のサニーロード周辺3町が合同で行う物産市。獲れたての海山の幸がたくさん。

※データは、8/31現在。まつり・イベントは主催者側の都合により、変更になる場合があります。お出かけの際は、あらかじめ電話でご確認ください。

伊勢文化舎・出版物のご案内

お問い合せ・ご注文は、伊勢文化舎のホームページ、または直接当社までご連絡ください。
http://www.isebito.com/　TEL 0596·23·5166　FAX 0596·23·5241

伊勢のお木曳
神領民の心と技を伝える、お木曳のすべてがわかる本。全79奉曳団を完全収録。

1400円+税　B5判256頁

伊勢のお白石持
臨場感あふれる写真とともに、お白石持の歴史、奉献の知識などを詳しく解説。貴重な遷宮祭の写真と記事も掲載。

1400円+税　B5判208頁

お伊勢さんと遷宮
山口祭に始まる約1500の祭・行事とともに、お伊勢さんに奉仕するさまざまな人々の営みを紹介している。

1300円+税　A5変形判144頁

お伊勢さん 125社めぐり
伊勢神宮の摂社・末社など全125社の鎮座の由緒や周辺の歴史・文化を解説した、持って歩けるガイド。

1200円+税　A5判160頁

お知らせ

伊勢志摩国立公園指定70周年記念プレイベント

全国のSea級グルメが鳥羽に集結！

みなとオアシスとばFesta2015　10月31日・11月1日

Festaのメインイベントとして開催される「第7回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inとば」。全国各地の港で水揚げされた海産物を使ってつくられる「Sea級（海の食材）グルメの全国大会」で、10月31日（土）、11月1日（日）の両日、佐田浜港マリンターミナル周辺で開かれます。

海産物を使いSea級グルメを会場のテントブースで調理・販売し、来場者の投票によりグランプリを決めます。岩手県からは宮古市、愛媛県の八幡浜市、鹿児島市といった名だたる全国のみなとオアシス16団体が出店予定です。地元の鳥羽市からはサメ春巻き、津市から津ぎょうざが出店します。

これら各地のSea級グルメが1品300円～500円程度の格安で食べられるのがイベントの最大の魅力。そのほか、周辺ではセグウェイやミニSL、鳥羽湾クルージングなどの「のりものフェスタ」、ステージでは地元の九鬼水軍太鼓や鳥羽出身の歌手の山川豊さん、ETSUCO（エツコ）さんの歌もあります。入場無料、10時～16時。当日は臨時駐車場が利用できます。お問い合わせは鳥羽市建設課（0599-25-1175）。

サメの春巻き（鳥羽市）

津ぎょうざ（津市）

多幸（タコ）のみ焼（広島県瀬戸田市）

地元の九鬼水軍太鼓

歌手の山川豊さん

●「伊勢志摩国立公園指定70周年」1年前記念シンポジウムを11月3日に開催！

指定70周年（2016年）の1年前を記念して、シンポジウムを開催します。

開催概要（案）　日時：平成27年11月3日（火・祝）14：00～17：00
会場：伊勢市生涯学習センターいせトピア（三重県伊勢市黒瀬町562-12）
内容：学生や若者をメインにこれからの伊勢志摩国立公園を考える

【構成】　1部　学生や若者の取り組みを紹介（5組程度）
2部　基調講演
3部　パネルディスカッション―今後の伊勢志摩国立公園を考える（案）

問合せ先：伊勢志摩国立公園協会（伊勢志摩国立公園指定70周年事業実行委員会事務局）
電　話：0599-25-2358
10月HPにて詳細発表▶www.ise-shima.or.jp

ぱるく博士の国立公園なんでも講座

硫黄の香りが一面に漂う「登別地獄谷の湯けむり」。

③ かおり風景100選がある公園

Q 海辺に行くと磯の香りがするわよね。山を歩けば木や草の香りがするし。　前回は「音風景」だったけど、香りを選んだものはないのかしら。

A もちろんあるぞ。「かおり風景100選」というのが。

Q ステキ！　ロマンチックだわ。

A 環境省が2001年に、自然や文化に根ざした香りのある地域を選んだのじゃ。香りといえばまず、温泉の硫黄の香りじゃな。支笏洞爺国立公園には「登別地獄谷の湯けむり」があり、富士箱根伊豆国立公園では、最近世間を騒がせている「箱根大涌谷硫黄のかおり」が選ばれておる。

Q 海辺では？

A 三陸復興国立公園の「浄土ヶ浜の潮のかおり」、西表石垣国立公園では「竹富島の海と花のかおり」が入っておるな。

Q 海があれば、山の香りもあるの？

A もちろんじゃ。中部山岳国立公園の「黒部峡谷の原生林」、吉野熊野国立公園の「大台ヶ原のブナの原生林」がある。このほか、屋久島国立公園の「屋久島の照葉樹林と鯖節」、三陸復興国立公園の「金華山の原生林と鹿」というちょっと変わった組み合わせもある。

Q 伊勢志摩国立公園ではどんな香りが？

A 「伊勢神宮参道千年の杜」と、鳥羽の「答志島和具浦漁港の塩ワカメづくり」が選ばれておる。参道の神宮杉やヒノキなどが醸し出す、清々しい香りと雰囲気は伊勢神宮ならではのもの。それに加えて、おはらい町のお茶やお菓子、伊勢うどんなども香りの源として選ばれたのがユニークなところじゃな。答志島のワカメの釜茹では、島に春を呼ぶ香りとして知られておる。

70周年記念 事務局だより

8月 伊勢志摩国立公園協会のエコツアー「シュノーケリング体験教室」を報告

伊勢志摩国立公園協会の仕事は、主に鳥羽ビジターセンターを訪れる方のご案内ですが、年に4回だけエコツアーを開催します。伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町でそれぞれ1回ずつです。

今回紹介するのは「シュノーケリング体験教室」です。場所は、南伊勢町迫間浦はまゆうビーチ。国立公園指定70周年のプレイベントです。

その日の予報は、猛暑日。シュノーケリング日和でした。その上、海水の透明度が良好で岸壁から海底が透けて見えます。参加者18名は6班に分かれマスクとシュノーケルの使い方を教わりました。海に入り呼吸の仕方などの指導を受ける参加者の表情は真剣そのものです。

初体験の緊張感の中で、恐る恐る顔を浸けていたのは最初のうちだけ。次第に呼吸のコツがわかってくると、海中の魚やカニなどを眺める余裕も・・・。海中散歩の醍醐味が楽しめました。

参加者の中に、潮間帯の調査をされている方がいて、「今回学んだことを調査に活かしたい」とのこと。自然を楽しみながら守っていくことの大切さを改めて感じさせられました。

お昼は民宿で「伊勢まぐろ丼」。とろける様なおいしさ。温泉にも浸かり、さわやかな気分で終了できました。

シュノーケルを付けて海面に顔浸し。海中で泳ぐ魚や海底を這うカニも見えたよ。

はまゆうビーチは入り組んだ五ヶ所湾（南伊勢町）の少し奥、迫間浦にある。

伊勢まぐろはここ南伊勢町で養殖されている。写真は伊勢まぐろ丼。

伊勢志摩国立公園協会事務局長　滋野 峻

伊勢志摩国立公園 に関するお問い合せは…　伊勢志摩国立公園協会 TEL 0599-25-2358
伊勢志摩の観光 に関するお問い合せは…　伊勢志摩観光コンベンション機構 TEL 0596-44-0800

購読のご案内

本紙を購読ご希望の方は、お近くの郵便局に設置されています払込取扱票（青字）に、ご住所・お名前・電話番号・号数・部数を明記の上、伊勢文化舎まで発送料をお振込みください。

●口座番号　00820-2-4239
●口座名義　伊勢文化舎
●料金　・1～2部　200円
　　・3～5部　300円

注：6部以上は、料金が異なりますので、お問い合せください。

<お問い合せ・送付先>
〒516-0008　伊勢市船江2-22-25
伊勢文化舎「ぱるく伊勢志摩」係
●TEL 0596・23・5166
●FAX 0596・23・5241

<お願い>
定期購読ご希望の方は、恐れ入りますが10号（最終号の予定）までをまとめてお申込みいただけると助かります。

配置場所のご案内

〈県内〉
伊勢志摩（3市1町）の主な観光案内所、観光施設、ホテル・旅館、飲食・土産物店、鳥羽ビジターセンター、志摩ビジターセンター、3市1町の観光担当窓口、伊勢志摩観光コンベンション機構、頭之宮四方神社、二見興玉神社、近鉄四日市駅・白子駅・津駅・宇治山田駅・鳥羽駅、安濃SA　他

〈県外〉
三重テラス（日本橋）、近鉄東京支社（丸の内）、東京大神宮（飯田橋）、東京コンファレンスセンター（品川・有明）、三重県関西事務所（梅田）、名古屋三交ビル1階桜通りカフェ（中村区）、近鉄大阪・奈良・京都・名古屋の主要駅、近畿日本ツーリスト各直営店舗　他

伊勢志摩からの便り

この度の「伊勢志摩サミット」決定は、すでに70年前に決まっていたのではないだろうか――、「先駆者」のシリーズを通してふとそんなことを思いました。70年前といえば、伊勢志摩が戦後初めての国立公園に指定された時です。この時、先駆者と言われる人たち＝伊勢志摩国立公園の父・石原円吉翁、真珠王・御木本幸吉翁、そして、元厚生省の石神甲子郎技官、GHQのポパム大尉＝の思いや行動には、単に自然を守る、というものでなく、来るべき時代を見据えて世界の人々に日本の誇る景勝の地を見てほしい、訪れてほしい、そんな強いメッセージが共有されていたように思います（P12「先駆者たち」）。伊勢志摩が世界を動かす首脳たちの集う場となり、今後の世界平和に貢献することを願っています。

発行人／伊勢文化舎代表　中村 賢一

次号は

「新春の号」12月初旬発行予定
特集
2016伊勢志摩サミットの舞台をゆく
賢島（英虞湾）―伊勢神宮他

あべのべあが、旅に出た。

リゾートに冒険に、伊勢志摩を満喫したあべのべあ。シーカヤックの他にもたくさん楽しんできたんだ。思い出の旅ムービーをチェックしてね！

ハルカス300（展望台）キャラクター あべのべあの気まま旅　WEBムービー公開中！
http://www.kintetsu.co.jp/abenobea_kimamatabi/

伊勢・鳥羽・志摩スーパーパスポート "まわりゃんせ"　まわりゃんせ　検索　近鉄公式facebookページ
旅客案内テレフォンセンター（8時～21時）年中無休 大阪(06)6771-3105 / 名古屋(052)561-1604
近鉄